

「早期大腸癌 T1b におけるリンパ節転移症例の検討」研究へのご協力をお願い

【研究目的】

早期大腸癌 T1b(癌が大腸の壁に入り込んだ深さ(深達度)の一つ)において、ガイドラインでは、内視鏡的切除後追加外科手術を考慮するとされておりました。しかし近年、低リスク群では、リンパ節転移は低率と報告されており、追加外科手術せず経過観察も容認される可能性を示唆されているが未だ明らかではありません。今回、当院での過去の症例について調査し、早期大腸癌 T1b 群のリンパ節転移率を検討することを目的とします。

【研究対象】

2008 年 1 月～2015 年 12 月、当院で外科手術を行った早期大腸癌 T1b の方

【研究方法】

上記対象者様について、診療録を用いて組織診断を収集し、検討する。

【個人情報について】

当研究のデータ収集に際しては、対象者様を特定しうる情報は院内で厳重に管理し、個人が同定されないようにして、検討を行います。また、学会などで研究の成果を発表しますが、その場合においても対象者様が特定されるようなことはございません。

本研究は、通常診療として行われた治療の結果を観察する研究であり、研究の為に新たに直接的な診療を付加するものではありません。又、研究は当院の倫理委員会の承認を得ております。皆様の貴重なデータを使用させて頂くことにご理解とご協力をお願いいたします。

尚、当研究に関してご質問がある方やご自身のデータを利用されることを望まない場合には、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記医師までご連絡・ご相談いただきますようお願い申し上げます。

【研究代表者】公益財団法人丹後中央病院

消化器内科 主任部長 濱田 暁彦

電話 0772(62)0791(代表)